



岐阜市未来のまちづくり懇談会の目的

令和8年7月7日 企画部 未来創造研究室

岐阜市未来のまちづくり懇談会の概要

懇談会の目的

「① 岐阜市**未来のまちづくり構想**」並びに「② 岐阜市**未来創生総合戦略**」を一体的に推進するにあたり、

- ・両計画の**進捗状況の評価**に関する事項
- ・両計画に基づく**取組**に関する事項

について、構成員の皆様より、専門的かつ幅広い意見交換を行う

【開催要綱 第1条・第2条】

2つの計画の概要と関係性

① 岐阜市**未来のまちづくり構想**

- 2040年頃を見据えた、岐阜市の**まちづくりの総合的な方針**
- 2040年頃の**将来像**とそれを実現するための**まちづくりの方向性**を示したもの
- 計画期間：2022～2040年度 ※5年ごとに見直し（ただし、著しい社会の変化に応じ、柔軟に見直し）



反映（将来像、まちづくりの方向性）

② 岐阜市**未来創生総合戦略**

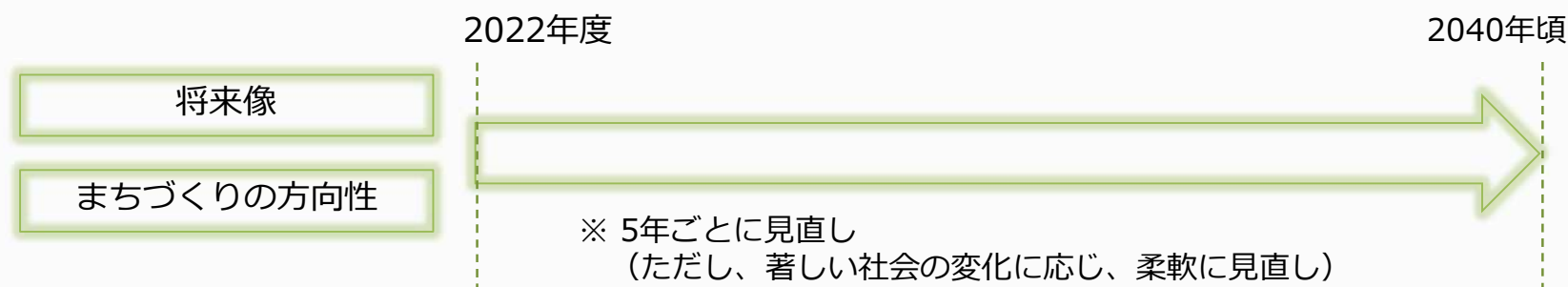
- 構想に掲げる将来像の実現に向け、
「ひとの創生」「しごとの創生」「まちの創生」を3本柱に
デジタル技術も活用しながら地方創生の深化・加速を目指すもの
- 本市の地方版総合戦略とSDGs未来都市計画を統合
- 計画期間：2024～2027年度



「岐阜市未来のまちづくり構想」の概要

本構想の位置づけ

- 本構想は、**2040年頃**を見据えた**まちづくりの総合的な方針**



2040年頃の岐阜市の未来を測定する数値目標

- 将来像「**人がつながる 創造が生まれる しなやかさのあるまち**」に近づいているかどうかを目に見える形で測定するため、以下の数値目標を設定

	2021年度	目標(2040年度)
現在幸せだと感じている人の割合	83.0%	85.0%
岐阜市民であることに誇りを感じる人の割合	53.2%	65.0%
岐阜市に住み続けたいと思う人の割合	78.6%	80.0%

※ 幸せを感じている人について、2022年度までは5段階でお聞きしていたものを、国が実施する調査項目に合わせ、0～10点のいずれかを選択する手法に変更。6点以上を回答した人の割合を「幸せだと感じている人」として算出。

「岐阜市未来創生総合戦略」の概要

本戦略の位置づけ

- 本戦略は、**構想に掲げる将来像の実現**に向け、**「ひとの創生」「しごとの創生」「まちの創生」**を3本柱にデジタル技術も活用しながら地方創生の深化・加速を目指す

本戦略のKPIの考え方

- 本戦略のKPIとして、国が進める**地域幸福度（Well-Being）指標の考え方を参考**に、**「ひとの創生」「しごとの創生」「まちの創生」**それぞれに関連する、**主観指標**と**客観指標**を位置づけ
 - ・ **主観指標**には、平成25年度から毎年度実施している**市民意識調査結果**を位置づけ
 - ・ **客観指標**には、各種計画等に位置付ける指標を参考に、本市の**「暮らしやすさ」を把握できるデータ**を位置づけ



デジタル庁の資料をもとに岐阜市作成(本戦略 P54より)

本日、主にご意見いただきたいこと

岐阜市未来のまちづくり構想について

※ 第2回の懇談会は、構想改定版の素案についてご意見をいただく予定

(参考) スケジュール

